

2023.02.21 シニアクラブ Online 会合報告

2日ほど前は4月の陽気となったのに、今日は風が強く冬晴の日となりました。日本海側は雪に見舞われているようです。

1月の会合に続き、今回も徳川幕府の系図を見ることにしました。



☆ 前回の復習も兼ねて、パワーポイントを使って家康の子、そして将軍家2代以降の家族を紹介。7代将軍「家継」までいったところで、話が長くなりすぎるので中断、8代将軍「吉宗」以降は次回に持ち越しとしました。

☆ 宮田さんから、最近話題となった偵察気球に関して、冬場に強くなるジェット気流の話、そして第2次大戦中に日本軍がアメリカに向けて放った風船爆弾の話が紹介されました。

直径10mほどの気球に爆弾を括り付けて冬の強いジェット気流に乗って3日でアメリカに到達、そこで爆弾を投下するものであったと。気球はコンニャク糊を含浸させた和紙を何枚もつなぎ合わせて作成。9000発以上飛ばして、少なくとも300発はアメリカ本土に届いたとの記録があり、そのうちのひとつで6人が死亡したとのことです。

気球の進路は風任せではあるが、昼と夜との温度差を考慮してバラストを適時切り離して浮力を調整する機能も備えて、当時相当の知恵を絞りアメリカに届くよう作成された。当時放球した北茨城市では市の歴史民族資料館にこの風船爆弾の資料を展示している。



資料館内部(野口雨情記念館 HP から)

アメリカに到達した風船爆弾

☆ ロシアがウクライナに侵攻して間もなく1年、浅見さんからは一刻も早く平和を取り戻すために、と願いを込めて反戦歌の紹介がありました。 <https://youtu.be/WIYEZZSu-cE> 参照

平和に暮らしていたウクライナが戦場になって沢山の人が死んでいます
思えばロシア兵にも死ぬ理由なんてあるのでしょうか

心より平和な日々を願

☆ 宮庄さんが台湾、香港、東莞（広東省）を回ってきたとのことで、現地の様子などを聞く。「今回の訪中目的は、コロナでしばらく現地で仕事ができなかったのでコロナ前からの仕事の整理。現地、特に中国深圳での大卒初任給は日本を上回り、今までの中国におけるビジネスモデルは終わった。当時いた日本人の一部はカナダに移り仕事をしているし、生産拠点はベトナムやインドなど他の国に移す動きが見えていた。自身が行動した範囲では、街を走り回るバスやタクシーは充電時間不要のバッテリー交換方式のEVがみられた。そしてデジタルマネーの普及で、支払いも電子マネーが多かった。全般的な感触では、日本は大きく引き離されている。」とのこと。

次回も徳川幕府について話をする予定ですが、参加される皆様からこのような情報をどんどん紹介してください。

2023.02.22 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周



ベトナム戦争と反戦歌

